

LINEからまちの「こまった」をレポートできるようになります！ ～ちばレポをLINEではじめてみませんか？～

千葉市では、平成26年度から、身近な地域課題についてICT（情報通信技術）を使って市民がレポートし、市民と行政、市民と市民の間で課題を共有し、合理的、効率的に解決することを目指すしくみである「ちばレポ（My City Report）」を運用しています。

このたび、新たにLINEアプリを利用してだれでも気軽にレポートできる機能を導入しますので、お知らせします。

1 開始日

令和4年4月20日（水）



My City Reportの
LINEアカウント追加

2 利用方法

(1) 友だち追加

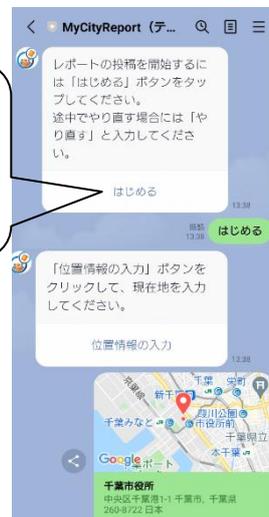
右記2次元バーコード読み取りまたは「@327uvbpw」でLINEのID検索を行い、My City ReportのLINEアカウントを友だち追加してください。

※本日時点でLINEアカウントを友だち追加できます。

(2) レポート方法

LINEアプリのトーク画面のメッセージに従って、位置情報、レポートの種類、写真、不具合の状況などを選択・入力します。

レポートするときは初回のみ「はじめる」と入力。2回目以降は「はじめる」ボタンをタップ



3 レポートできる内容

種類	内容
道路	道路の損傷など
公園	公園内の不具合など
ごみ	ごみの不法投棄など
その他	上記以外の市が管理する施設の不具合など

レポート方法（イメージ）

4 注意事項

- ・トーク画面の応答は自動応答となります。市から個別に返信することはありません。
- ・市が管理する施設等の場合、補修や経過観察等の対応を検討します。
- ・レポートの内容によっては、補修等の対応までお時間をいただく場合があります。
- ・国、県など管理者が特定できる場合は、管理者に情報提供することがあります。
- ・My City Report アプリからレポートいただくと、対応状況等を確認できます。

5 その他

詳細は、広報広聴課のホームページをご確認ください。

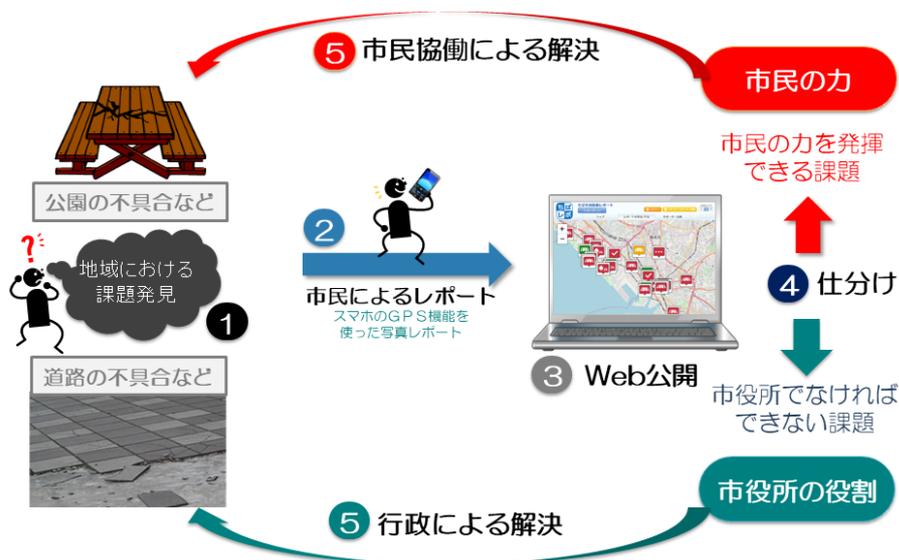
【URL】 https://www.city.chiba.jp/shimin/shimin/kohokocho/chibarepo_line.html



<参考>

1 「ちばレポ」とは

「道路が傷んでいる」、「公園の遊具が壊れている」といった地域課題を、スマホアプリを使って市民がレポートすることで、市民と市役所、市民と市民の間で課題を共有し、合理的・効率的な解決を目指す仕組み



運用実績（令和4年3月31日現在）

1. 参加登録者数

種類	人数
レポーター	7,926人
サポーター	3,020人

2. レポート件数

種類	件数
こまったレポート	13,540件
かいけつレポート	3,110件
テーマレポート	2,648件
計	19,298件

3. 処理状況（こまったレポート）

				対応完了 11,493件 84.9%			
	未受付	受付済	対応中	対応済	外部機関へ	計	
件数	63	1,784	200	10,210	1,283	13,540	
構成比	0.5%	13.2%	1.5%	75.4%	9.5%	100.0%	

2 「My City Report」とは

ちばレポのような取組みを、全国どこの自治体でも簡単に、大きな負担なく開始できるようにすることを目的としたシステムで、東京大学が中心となり、複数の自治体（本市を含む7自治体）が実証実験に参画し、ちばレポをベースに開発した。

令和元年度から共同運営のコンソーシアムにより運営を開始し、複数の自治体（令和3年度末現在、本市を含む14自治体）で同じシステムを利用することで、利用経費の削減を実現している。なお、LINEによるレポートも同システムで一元的に管理する。